

FSCの設立趣旨

土地、植物、動物及びそれらを取り巻く環境を生命系として教育・研究を行うとともに、これらの研究成果を通して、広く地域社会の発展に寄与することを目的とする。

東京スピニングパーティー2024へ出店

手仕事を楽しむクリエイターと繊維素材の祭典

10月5日、6日に神奈川県横浜市で開催された「東京スピニングパーティー2024」に出店し、十和田農場で飼養されているサフォーク種とマンクス・ロフトン種（以下マンクス）の羊毛を販売しました。

「東京スピニングパーティー」は、2001年から開催されており、染める、織る、編むなど人の手で作り上げられる素材や作品などを扱う個人や企業、団体が全国各地から80以上集うイベントです。今回は記念すべき20回目だそうで、北里大学は2回目の参加となります。

十和田農場がマンクスを導入して10年以上経ちますが、今では日本で一番多くマンクスを飼養している農場となりました。これは系紡ぎや編み物、羊毛フェルトなど、羊毛を扱う方々の中ではだいぶメジャーな認識となっているようです。

十和田農場では、前回の好評ぶりを受けて、十和田農場で飼養するマンクス一頭分の羊毛をつながったまま洗ったもの（フリースといいます）を10頭

分準備しましたが、開場30分不足でほとんどが売れてしまいました。今回は羊一頭一頭の写真とプロフィールを付け、フリースを生産した羊の顔が見えるように工夫しました。また、お客様が持ち帰りやすいように圧縮袋に入れ、折りたたむことで手提げ袋に入るサイズにしました。

販売していると、「去年〇〇ちゃん（羊の名前）のフリースを買ってよかったからまた買いに来ました!」とか、「去年は△△ちゃんだったけど、今年は□□ちゃん試してみます!」など、購入された方が愛着を持って利用していただけることが伝わり嬉しかったです。

ご来場された中には、本学部の卒業生や、獣医さん、羊の生産を広めたいと活動されている方などもいらっしゃり、たくさんの方にお声がけいただきました。また、今回は主催企業のインターンとして高校生が自分たちで開発した商品を販売していたり、高校の教員だという方がご自分の生徒さんたちに情報提供したいと獣医学部のパンフレットを持ち帰ったりと、進学希望の生徒さんへのPRにつながったと思います。

しかし、まだまだ本学部の認知度は低く、来場された方は、北里大学は知っていても獣医学部の存在は知らず、ましてや青森県にキャンパスがあるということはほとんど知られていません。これからもこうした一つ一つの出会いから十和田キャンパスの魅力を発信することで、たくさんの方に知っていただけるように十和田農場の役割を果たしていきたいと思っています。



マンクスのフリース。頭側が左下、お尻側が右上に配置されています。



販売ブースの様子。左側の青いチャックの袋がマンクス一頭分のフリース。



販売の様子。羊に憑りつかれた卒業生（右）が鳥取県から手伝いに来てくれました。

八雲牧場の近況報告

牛たちの放牧が終了しました／紅葉祭に参加しました

5月に青々とした牧草地に放牧された牛たちですが、10月に入るとすっかり草がなくなってしまう少しさみしそうな顔になります。気温も下がりそろそろ牛舎で食べるサイレージが恋しくなる季節です。

近くの放牧地にいる牛は歩いて下牧し、遠くにいる牛たちはトラックに乗せて搬送します。今年の越冬用の牧草サイレージは良いものが収穫できました。約半年の牛舎暮らしでしっかり大きく育てたいと思います。



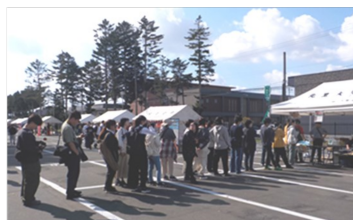
左：牧草の少ない放牧地での牛たちの寂しそうな様子



左：牛舎で元気にもりもりサイレージを食べる様子

紅葉祭で毎年恒例の「北里八雲牛のネギバラ焼き」を販売させていただきました。今回はふるさと納税の返礼品でも大人気の「北里八雲牛のオーガニックハンバーグ」も販売しました。

2日間の出店でしたが、両日ともありがたいことに販売開始2時間で予定していた量が売れてしまい（約30kg）、今年は100kgほど販売しようかと思っています。今年もよろしくお願いいたします！



左：販売開始前からできた長い行列の様子



右：新たに販売した「オーガニックハンバーグ」

今号のどうぶつ紹介



まだ名無し
(シャロレー種)

八雲牧場にて、春に動物生殖学研究室の永野先生によって日本短角種に移植されたシャロレー種が12月16日、18日にオス、メス1頭ずつ誕生しました。久しぶりの真っ白い牛の誕生に以前飼養していたころを懐かしく思います。牧場では母牛の母乳を飲んで牛舎の中を走り回っていましたが、1月16日に2頭とも十和田農場に移管されました。

『石ちゃんのビーフ天国』収録

2024年10月31日 八雲牧場

2024年10月31日に八雲牧場でHBC北海道放送の番組『石ちゃんのビーフ天国』の撮影があり、「まいう〜」でおなじみのタレントの石塚英彦さんが来場されました（11月30日放映）。

当日、撮影スタッフは8時半から来場し、展望台からの眺望、試食牛肉の調理前後の前撮りを行いました。収録中、緊張のあまり頭が真っ白になった私を石塚さんはアドリブで助けてくださり、そのことを同行していたプロデューサーに聞くと、石塚さんは本番前にとっても勉強される方でどんな状況でも上手に進行してくれる方とのことでした。

撮影は牛との出会いからBBQハウス前でのステーキとしゃぶしゃぶの試食でしたが、とてもおいしそうに食べる姿が印象的でした。

放送は北海道だけでしたが現在はTVerで配信中です。

